

2023年6月9日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社



## 日本トランスシティ株式会社が発行するグリーンボンドの引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 小林 真、以下 当社)は、このたび、日本トランスシティ株式会社が発行するグリーンボンド<sup>(注1)</sup>(5年債 80億円、以下 本社債)の引受けにおいて事務主幹事及びストラクチャリング・エージェント<sup>(注2)</sup>を務め、本日、本社債の条件が決定されましたことをお知らせします。

日本トランスシティグループは、2022年10月に発行されたサステナビリティレポートにおいて、「物流と人のハーモニー」の精神に基づき、物流サービスを提供するとともに、地球環境保護と地域社会との共生を図り、環境保全の取り組みを継続的に推進していくことを表明しました。2022年6月にはサステナビリティ方針を策定するとともにマテリアリティを特定し、「環境に配慮した事業推進」を重要な課題の一つとして掲げ、温室効果ガス削減や省資源活動、環境に優しい物流サービスや物流施設の充実に向けて、様々な取り組みを進めております。本社債による資金調達には、『ZEB』<sup>(注3)</sup>認証を取得した「三重朝日物流センター」の取得資金に充当されます。

本社債は、ICMA グリーンボンド原則 2021 と環境省グリーンボンド及びサステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン 2022 年版に則して策定されたフレームワークに基づき発行され、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センターより適合性について評価を取得しています。

2006年に国連責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)が制定されて以来、世界の ESG 投資が拡大していることを受けて、資金用途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド、そして脱炭素社会への移行に関する事業を資金用途とするトランジションボンドの発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本社債の概要)

名 称	日本トランスシティ株式会社第6回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(グリーンボンド)
発 行 年 限	5 年
発 行 額	80 億円
利 率	0.505%
発 行 日	2023 年 6 月 15 日(木)
償 還 期 限	2028 年 6 月 15 日(木)
利 払 日	毎年 6 月 15 日及び 12 月 15 日
資 金 使 途	三重朝日物流センターの取得費用に充当
取 得 格 付	A-(株式会社格付投資情報センター)
主 幹 事	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社 野村証券株式会社
ストラクチャリング・エージェント	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

(注1) グリーンボンドとは、国際資本市場協会(International Capital Market Association:ICMA)が定義する「グリーンボンド」の特性に従ったものであり、環境事業に要する資金を調達するために発行する債券

(注2) フレームワークの策定及びセカンドパーティ・オピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンド等の発行支援を行う者

(注3) Net Zero Energy Building の略であり、年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの建築物

※SDGs 債ロゴについて:SDGs 債に対し、日本証券業協会により使用が認められています。SDGs 債とは、調達資金が SDGs に貢献する事業に充当される債券や、SDGs の実現に貢献する KPI 設定/SPTs 達成型の性質を持つ債券で、環境・社会へのポジティブなインパクトを有し、一般的にスタンダードとして認められている原則に沿った債券や、事業全体が SDGs に貢献すると考えられる機関が発行し、インパクト(改善効果)に関する情報開示が適切になされている債券が含まれます。

以 上